



会 長 藤 本 保
幹 事 安 井 亜 紀 子

会長スローガン

「ロータリーを愉しむ」

例会日／毎週月曜日 12:30～

例会場／トキハ会館 4F

TEL 097-532-0611

FAX 097-532-8386

Email : oita1985rc@mist.ocn.ne.jp

ホームページ : www.oita1985rc.jp



2014-15年度
国際ロータリーのテーマ

「ロータリーに輝きを」

R I 会 長
RI第2720地区ガバナー
大分第4グループガバナー補佐

ゲイリー・C.K.ホァン
小 山 康 直
赤 川 治 之

■ 本日のプログラム (8月25日)

12:30	点	鐘		
	会	食		
	ロータリーソング	「四つのテスト」		
	ゲスト・ビジターの紹介	会 長 藤 本 保		
	会 長 の 時 間	会 長 藤 本 保		
	出 席 報 告	出席担当 藤 田 敬 治		
	幹 事 報 告	幹 事 安 井 亜 紀 子		
	委 員 会 報 告	「関係委員会」		
	ニコニコタイム	坂 本 肇		

13:00 会員増強DVD鑑賞会

■ 第5回例会の記録 (8月18日)

ロボットスーツHALと「おんせん県おおいた」
岡本 美鈴 様 (大分ロボケアセンター株)

・出席報告 (8月18日)

会 員 総 数	17名 (うち名誉会員 1名)
8 月 18 日	
出 席 免 除	2 名
出 席 会 員 数	11 名
出 席 率	68.75 %
ゲ ス ト	1 名
ビ ジ タ ー	6 名
7 月 14 日	
修 正 出 席 率	93.75 %

■ 次週の例会 (第7回 9月1日(月))

藤田 敬治 会員の卓話

ロータリーソング

【四つのテスト】

真実かどうか みんなに公平か
好意と友情を深めるか
みんなのためになるかどうか

会長の時間 (8月25日)

会 長 藤 本 保

各地で大雨の被害が出ています。広島では土砂災害でたいへんなことになっています。他人事ではありません。皆さんもどうぞお気をつけください。

さて、今週も引き続き、社会奉仕に関する情報提供として、手続要覧から国際RCのステイトメントStatement on Community Service (声明) を抜粋します。

以下に掲げる諸原則は、ロータリアンおよびロータリークラブの指針として、また、社会奉仕活動に対するロータリーの方針を明確に表すものとして適切であり、また管理に役立つものであることを認め、これを採用するものである。

- 1) ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は奉仕―「超我的奉仕」の哲学であり、これは、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という実践的な倫理原則に基づくものである。
- 2) 本来ロータリークラブは、事業および専門職務に携わる人の代表として、ロータリーの奉仕の哲学を受け入れ、次の四つのことを実行することを目指している人々の集まりである。
まず、第1に、奉仕の理論が職業および人生における成功と幸福の真の基礎であることを団体が学ぶこと。第2に、自分たちのあいだにおいても、また地域社会に対しても、その実際例を団体で示すこと。第3に、各人が個人としてこの理論をそれぞれの職業および日常生活において実践に移すこと。そして第4に、個人として、また、団体としても大いにこの教えを説き、その事例を示すことによって、ロータリアンだけでなく、ロータリアン以外のすべての人々が、理論的にも実践的にも、これを受け入れるように励ますことである。
- 3) RIは次の目的のために存在する団体である。
 - a) ロータリーの奉仕の理念の擁護、育成および全世界への普及。
 - b) ロータリークラブの設立、激励、援助および運営の管理。
 - c) 一種の情報交換所として、各クラブの問題を研究し、また、強制でなく有益な助言を与えることによって各クラブの運営方法の標準化を図り、社会奉仕活動についても、既に広く多くのクラブによってその価値が実証されており、RI定款に掲げられているロータリーの目的の趣旨にかなない、これを乱すよう

な恐れのない社会奉仕活動によってのみ、その標準化を図ること。

4) 奉仕するものは行動しなければならない。従って、ロータリーとは単なる心構えのことをいうのではなく、また、ロータリーの哲学も単に主観的なものであってはならず、それを客観的な行動に表さなければならない。そして、ロータリアン個人もロータリークラブも、奉仕の理論を実践に移さなければならない。そこで、ロータリークラブの団体的行動は次のような条件の下に行うように勧められている。いずれのロータリークラブも、毎年度、何か一つの主だった社会奉仕活動を、それもなるべく毎年度異なっていて、できればその会計年度内に完了できるようなものを、後援することが望ましい。この奉仕活動は、地域社会が本当に必要としているものに基づいたものであり、かつ、クラブ会員の一致した協力を必要とするものでなければならない。これは、クラブ会員の地域社会における個々の奉仕を奨励するためにクラブが継続的に実施しているプログラムとは別に行われるべきものとする。

(次週に続く)

ニコニコタイム (8月18日分)

★玖珠ロータリークラブ (大口)

玖珠クラブの会長をします、矢部邦隆です。穴井裕康幹事共1年間よろしくお願ひします。

★高山泰四郎会員 (自主1口)

去る8月16日(土)14時から大手町の日本福音ルーテル教会で、地区財団学友主催の「塩地亜希子ピアノコンサート」が行われました。財団学友としても初の試みでしたが、約50名のご参加で素晴らしい音楽会となりました。東日本大震災チャリティコンサートに協賛して、約12万円の義援金が集まり、木下PGに贈呈され、無事終了となりました。感謝して1口いたします。

在籍記念お祝い



坂本・穂田両会員ともに在籍2年になります。益々ロータリーを楽しんでください。

〈卓話の時間〉

ロボットスーツHALと「おんせん県おおいた」

岡本美鈴



ロボットスーツHALは、歩きたいという脳からの指令を感知してパワーアシストする動作支援のサイボーグ型ロボットです。人間が体を動かそうとするときには脳から皮膚表面に微弱な生体電位信号が流れ、その信号をHALのセンサーが感知し、関節に取り付けられたパワーユニットからの指令でモーターを動かして、装着者の動きを必要に応じて補助します。私たちはこれを「随意制御型ロボット」と呼んでおり、利用者様それぞれの状況に合ったトレーニングに活かしています。

ロボットスーツHALは、歩きたいという脳からの指令を感知してパワーアシストする動作支援のサイボーグ型ロボットです。人間が体を動かそうとするとき

HALを開発製造するCYBERDYNE(株)は、筑波大学大学院・現教授の山海嘉之CEOによって2004年に設立されました。「科学技術は人の役に立ってこそ意味がある」と捉え、国内外の高齢社会において、人とテクノロジーが相互に支援し合うテクノ・ピアサポートを提唱しています。私たちロボケアセンターの大きな使命のひとつは、人に役立つ製品をより多くの方へのサービスへ具現化させることです。

日本第一位の温泉湧出量を誇るおんせん県大分は、中長期滞在に適した観光資源が数多くあり、国内のみならず、海外からの滞在型集中トレーニングを実施しやすく、HALがつなぐ介護福祉～観光と新たな利用シーンを生み出すのに絶好の場です。アジア圏利用者の滞在型トレーニングも今夏より始まっており、今後さらに多くの利用者様にとり使いやすい場所になるべく、一歩ずつ体勢を整えて参ります。

ゲスト・ビジターの紹介

ゲスト：岡本美鈴様 (大分ロボケアセンター(株))

ビジター：田代信継様 (福岡RC)、穴井裕康様、矢野邦隆様 (玖珠RC)、田北昭二様 (大分東RC)、吉武俊一様 (大分南RC)、児玉元治様 (大分キャピタル)

例会変更のお知らせ

大分RC：9月2日(火) 野外家族例会のため8月31日(日)「豊後大野市」に変更いたします。

9月9日(火) 夜間例会のため「大分オアシスタワーホテル」にて 18:30～

大分城西RC：9月10日(水) 新入会員歓迎例会のため「第2海源丸」にて 18:30～

大分南RC：9月12日(金) 基隆東南扶輪社歓迎例会のため「ホテルザーズ」にて 18:30～

大分東RC：9月25日(木) 新会員歓迎例会のため「丸福」にて 18:30～

大分臨海RC：9月29日(月) 新会員歓迎夜の例会のため「大分オアシスタワーホテル」にて 18:30～